

全鉄連流通動態調査結果表平成25年4月分

(25.5.20)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前 月 在 庫 量		仕 入 れ 量		販 売 量		月 末 在 庫 量		
		3月実績	前月比%	4月実績	前月比%	4月実績	前月比%	4月実績	前月比%	
異 形 棒 鋼	東 京	12,776	99.0	60,058	93.7	60,893	94.8	11,941	93.5	
	大 阪	6,839	97.0	25,627	94.9	26,049	95.8	6,417	93.8	
	愛 知	8,277	105.6	2,749	75.6	3,131	98.0	7,895	95.4	
	計	27,892	100.4	88,434	93.4	90,073	95.2	26,253	94.1	
形 鋼	山 形 鋼	東 京	24,543	103.5	9,818	89.1	10,404	102.2	23,953	97.6
		大 阪	15,236	109.5	10,548	88.0	9,961	93.4	15,823	103.9
		愛 知	12,075	96.4	5,281	92.2	6,244	101.0	11,112	92.0
		計	51,854	103.4	25,647	89.3	26,609	98.4	50,892	98.1
	溝 形 鋼	東 京	18,427	101.4	5,496	69.0	6,432	83.3	17,491	94.9
		大 阪	11,788	112.3	6,498	78.5	6,552	93.7	11,734	99.5
		愛 知	8,365	97.6	3,660	84.3	4,360	95.8	7,665	91.6
		計	38,580	103.6	15,654	76.0	17,344	90.0	36,890	95.6
	H 形 鋼	東 京	23,851	101.7	17,222	85.1	17,288	87.2	23,785	99.7
		大 阪	42,529	114.4	28,086	82.3	28,166	97.9	42,449	99.8
		愛 知	23,902	99.2	11,353	95.6	11,890	98.5	23,365	97.8
		計	90,282	106.6	56,661	85.5	57,344	94.5	89,599	99.2
合 計		180,716	105.0	97,962	84.8	101,297	94.7	177,381	98.2	
コ ラ ム	東 京	10,458	113.6	2,077	52.5	2,404	89.0	10,131	96.9	
	大 阪	8,242	118.5	5,693	122.7	4,867	145.2	9,068	110.0	
	愛 知	2,913	102.2	1,946	130.5	1,974	138.1	2,885	99.0	
	計	21,613	113.7	9,716	96.3	9,245	123.6	22,084	102.2	
軽 量 C 形 鋼	東 京	3,844	99.6	2,804	123.3	2,588	113.1	4,060	105.6	
	大 阪	3,604	114.8	2,134	84.3	2,006	97.0	3,732	103.6	
	愛 知	2,513	104.4	1,099	92.4	1,241	114.5	2,371	94.3	
	計	9,961	105.9	6,037	100.7	5,835	107.3	10,163	102.0	
総 計		240,182	105.2	202,149	89.3	206,450	96.2	235,881	98.2	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 34、大阪 22、愛知 15、合計 71社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりブレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。